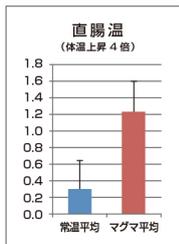


# マグマレッスン 前後の5大効果を医学で証明!

～マグマ下・常温下におけるレッスン前後の身体変化を医科学的に検証しました～

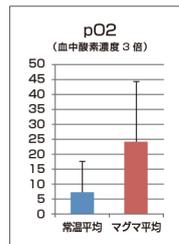
## 体内深部温度上昇が4倍!

マグマスパスタジオにおけるレッスン前後での体内深部温度の平均が、1.22℃上昇しました。この結果は、常温スタジオでのレッスンに比べ4倍以上の「温め効果」を実証した事になります。



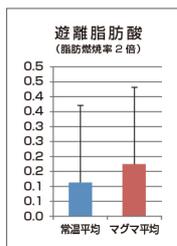
## 血中酸素の取り込みが3倍アップ ＜エネルギー代謝の活性化＞

血液中の酸素の取り込み量が常温スタジオでのレッスンに比べ3倍に上がりました。この結果により、マグマスパスタジオでのレッスン時、あるいはレッスン後、ミトコンドリアでのエネルギー代謝をより活性化させることが期待されます。

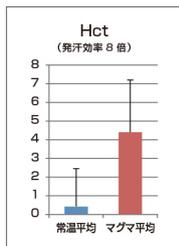


## 脂肪燃焼効率が2倍に向上!!

体温上昇によりエネルギー消費経路が活性化することで、体内に蓄えられた脂肪の分解効率も同じ運動量を常温スタジオで行うより2倍以上高くなる結果が立証されました。



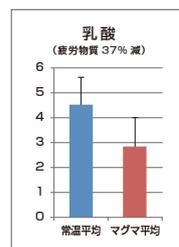
## 発汗効率が8倍にアップ



通常の発汗経路である汗腺からの発汗のほかに皮脂腺からの分泌も増えることで、発汗効率が8倍にもなり、体に溜まった老廃物を効率よく排出して体内を浄化し、皮膚のターンオーバーを早めて美肌へと導くことが期待されます。

## 疲労物質とも呼ばれている乳酸の血中濃度が37%減

体温上昇により血中酸素濃度が増えてミトコンドリアが活性化することで、乳酸の産生量自体が常温より少ない可能性、あるいは乳酸がエネルギー源として再び使われるため血中乳酸濃度が少ない可能性が考えられますが、いずれにせよマグマスパスタジオの方が同じ運動量を常温スタジオで行うより疲労感が残りにくく効率よく運動を進めることができることがわかりました。

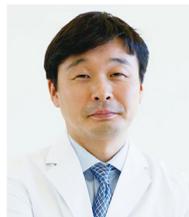


### 医学的検証レポート

マグマ下・常温下でのレッスン前後の体の変化を検証したところ、深部温度上昇やエネルギー代謝、発汗に関して常温よりマグマの方が効率的な変化を示しました。さらに疲労物質である乳酸の血中濃度増加率はマグマの方が低いのに加え、脂肪分解による遊離脂肪酸の増加率はマグマの方が高く、同じレッスンでもマグマ下レッスンの方が体に過剰な負荷をかけずに高い運動効果を得ることが示唆されました。

サーモセルクリニック院長  
医師/日本機能性医学研究所所長

齋藤 糧三 先生



マグマの温熱装置は、気化した水分子が熱を伝えるところが、一般的な岩盤浴と異なる大きな特徴です。そのため皮膚に対する熱刺激が軽微で、心地よいまま深部体温を上昇させることが可能です。

<経歴> 1998年日本医科大学卒業。2003年日本産婦人科学会認定取得/2008年日本機能性医学研究所を設立(所長)/2013年一般社団法人日本ファンクショナルダイエット協会を設立(副理事長)/2013年アグモクリニック東京 アンチエイジング・機能性医学外来院長/2016年サーモセルクリニック院長就任(2018年医療法人社団タイオン)/2017年株式会社大塚大学医学部研究科 遺伝子検査情報科学専攻口座 研究協力者/2018年株式会社LIFE QUEST代表取締役

<所属学会他> 米国The Institute for Functional Medicine 認定医/日本再生医療学会 認定医/日本抗加齢学会 会員/分子水素医学学会 賛助企業会員

サーモセルクリニック  
研究開発担当・医学博士

飯久妻 智代子 先生



マグマ下でのレッスンでは、遠赤外線効果により早い段階から血管拡張が起こり血流がアップするため、無理なく深部体温を上げてエネルギー代謝をより活発にし、同時に老廃物の排出や再利用も促進させて、常温で行うレッスンよりも運動効率を高める結果に繋がりました。

<経歴> 北海道大学大学院医学研究科修士/北海道大学大学院医学研究科にて医学博士学位取得/金沢医科大学熱帯医学研究所(現総合医学研究所)/大阪大学医学部附属動物実験施設/カリフォルニア工科大学 James H. Strauss 研究室/2000年より全身温熱療法の研究に従事  
<資格・専門等> 鍼灸師/全身ハイパーサーミア研究会 幹事  
<所属学会他> 日本ハイパーサーミア学会 会員/日本温熱療法学会 会員/日本抗加齢学会 会員/日本医師会 会員/日本カイロプラタ工业协会 会員

